

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業		評価者	文化人権推進課担当課長 高橋 謙司	
経企-26 鍋木清方記念美術館管理運営事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課	文化人権推進課
総合計画上の位置付け		分野	文化	施策の方針
				文化活動の支援・推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	鍋木清方の作品等を展示公開及び維持・管理し、鍋木美術品等の調査及び研究を行うため。
効果	鍋木清方の業績を後世に伝える。市民の教育、学術及び文化の発展に資する。

2 平成27年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度により、美術館の効率的な管理運営を行った。 指定管理者との役割分担に応じた施設の維持管理を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		データ区分	28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数	22,272人		29,737人		事業の対象者数			
運営資源状況	決算値(千円)	46,559	46,574		当初予算(千円)	47,988		
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他				その他			
	一般財源	46,559	46,574		一般財源	47,988		
	人員配置数	0.7	0.7		人員配置数	0.7		
	人件費(千円)	5,312	5,318		人件費(千円)	5,436		
事業経費	総事業費(千円)	51,871	51,892		総事業費(千円)	53,424		
	市民1人当りの経費(円)	292	293		市民1人当りの経費(円)	302		
	対象者1人当りの経費(円)	2,329	1,745		対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
	今後も市が実施すべき事業か	4. 市民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 ○-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済 協働実施済の場合のパートナー 市民団体
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 平成28年度は修繕箇所が増加のため、予算規模を拡大した。引き続き、指定管理者制度により鍋木清方記念美術館の効率的な管理運営を行い、指定管理者との役割分担に応じた施設の維持管理を行っていく。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	事業費については、委託料削減の可能性があるので、「削減余地」を「ある」とした。 鍋木清方記念美術館は、本市にゆかりの深い近代日本画の巨匠、鍋木清方の作品を展示し、その功績を伝える場であり、また、日本画を描くワークショップを開催するなど体験を通して伝統を伝え、本市の文化振興に寄与している。来館者数が平成27年度に過去最高を記録していることから、事業は妥当であり、事業内容及び広報活動等についても概ね成果が出ているとした。 市民等との協働事業は既に実施しているが、事業内容や協働のあり方について指定管理者と協議し、拡充を図っていく。 引き続き、業務の見直しを行い、効率的なPR、広報活動に努めていく。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 来館者数が減少傾向にあるため、来館者数増加に向けた対応策を指定管理者と検討する。 芸術的価値の高い鐺木作品等を災害から守るための具体策の検討を行うこと。 	
課題解決のために行った平成27年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> 展示企画や普及事業の周知を効果的に行うため、各種メディアへのPRを行った。 広報媒体を配布・配架する場所や割合を再検討し、広報媒体の有効活用に努めた。 館内で日本画家による日本画制作実演を行うなど、限られたスペースを効果的に使い、新たな鑑賞のスタイルを提案した。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> 鐺木作品等を災害から守るための更なる具体策を検討するとともに、今後の収蔵庫の容量不足が想定されるため、鐺木作品等の管理方法等について検討する。 来館者数増加が平成27年度限りとならぬよう、企画内容やPR方法について継続した検討が求められる。 	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	管理運営事業費・来館者数(H27)							
団体名	鎌倉市 鐺木清方記念美術館	茅ヶ崎市 茅ヶ崎市美術館						
他市実績	46,595千円	75,038千円						
	29,737人	24,112人						
比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								
比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	来館者数(年度)	単位	人	指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
より多くの市民等に施設を利用してもらうため。	目標値	28,500	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
	実績値	22,272	29,737				
	達成率	78.1%	118.9%				
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	平成27年度から目標来館者数をおおよそ同規模の施設に合わせた数値に改めた。目標来館者数を一定にし、毎年度目標値以上の来館者数を目指すこととする。						

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---